

天童市議会だより

2018
11.1
No.162
TENDO



9月定例会

▲市制施行60周年を記念して、本会議場で模擬議会を開催しました。模擬議会終了後、60周年を表すポーズで記念写真に納まりました。

- 2 特集 小中学生による模擬議会を開催
- 4 一般質問 11人
- 11 予算特別委員会 平成30年度補正予算
- 12 決算特別委員会 平成29年度決算
- 15 提出された議案とその結果
- 16 議会報告・意見交換会の検討結果
- 20 市民の声・12月定例会の日程（予定）



インターネットで
議会中継

天童市議会 で 検索

<http://www.city.tendo.yamagata.jp>

10月7日(日)に、市制施行60周年を記念して、模擬議会を開催しました。
一日議員となった19人の小中学生の皆さんは、将来の天童市がますます発展するように、日ごろ感じていることや地域の身近な問題などについて、質問や提言を行いました。主な内容について紹介します。

おいし いちる
大石 一陽さん (寺津小6年)



通学路が狭いため、安全に登下校できるように対策してほしい。
寺津小の児童数減少が心配だが、タブレットを活用したICT推進校など、寺津小の良さをたくさんの人に伝えることで、寺津で勉強したい、住んでみようと考えられる人が増えるのではないかな。

いとう ゆうさく
伊藤 優作さん (天童南部小6年)



昔、舞鶴山にお城があり、現在天童城跡を発掘していると聞き、大変興味をもった。
天童城を発掘したら、もっと天童市の発展につながると思う。発掘をして、新たな魅力として全国に発信してはどうか。

たけだ みのり
武田 実莉さん (津山小6年)



天童には良いものがたくさんある。一つは、ジャガラムガラ。たくさんの人に知ってもらいたい。整備について、市はどのように考えているのか。
二つには、天童の優しい方言で語る「天童の昔語り」。昔語りを残していく方法はないか。また、方言を大切にしている取り組みが必要ではないか。

あんどうりょうたろう
安藤 椋太郎さん (天童中部小6年)



天童市をもっと発展させて、より住みやすい都市にしていきたいと思う。天童市のこれからの発展について、どう考えているのか。
オリジナル米など天童独自のものを作ることや、PRの方法を工夫してはどうか。

ほんま かい
本間 駕偉さん (山口小6年)



学校の授業で将棋をすることで、将棋が好きな人が増え、街の魅力アップにつながると考える。
また、歩道の詰将棋の近くに応募用紙を置いて、応募者の中から抽選でプレゼントするなど、将棋の普及につながると考えるがどうか。

議長 ふたつもりしょうた
二ツ森 翔太さん (天童北部小6年)



押切川河川敷や道路などにごみが捨てられていることがある。ごみ対策はどのように行っているのか。
また、災害対策について、天童市ではどのような準備をしているのか。いざという時に、高齢者等も避難できるのか。

さいとう こうせい
齋藤 康生さん (高嶺小6年)



通学路には、日陰になるような街路樹がないため、今年の夏のような猛暑が続くと、熱中症になる危険性がある。
冬は、猛吹雪で目も開けられず、息も苦しくなる時がある。
地球温暖化や交通量の増加など、登下校時の安全対策をしっかりとしてほしい。

まつだ こうせい
松田 煌生さん (成生小6年)



野菜の需要と供給のバランスがとれているのか伺いたい。
市発展のため、天童独自の安全な野菜やめずらしい野菜、おいしい野菜を作り、指導者を支援する必要があると考える。働く場もでき、人口も増え、経済も伸びると考えるがどうか。

わたなべ かのん
渡辺 花音さん (長岡小6年)



スポーツに取り組む子どもに対して、家の事情で続けられないなどの場合、補助してもらえないか。
また、住まいについて、一人親でも安心して生活できる場所を増やせないか。
市は、子育てと住まいの支援について、どのように考えているのか。

さくらい しゅう
櫻井 洲さん (蔵増小6年)



身近に感じている問題が三つある。買い物をするお店がないこと、洪水など川の安全対策、街灯が少ないことである。
このことについて、天童市ではどのように考えているのか。大好きな天童がより良くなっていくといいと思う。

模擬議会



やまぐち めい
山口 芽衣さん (第二中3年)



県道荒谷原崎線と天童停車場若松線が交わる交差点は、交通量が多く危険であり、実際に事故も起きている。

信号機などの設置や、交通指導員を配置して交通ルールを徹底させることで、安全な通学路が確保できると考えるが、市の考えは。

かさはら ゆうな
笠原 由菜さん (第三中3年)



市民憲章にもうたわれている「美しいまちづくり」を実現するには、市民一人一人が自分たちの周りをきれいにする意識を持つこと。

また、ごみの分別ルールやリサイクルを徹底し、「日本一美しいまち天童市」を実現する具体的な対策は。

みとべさあや
水戸部紗彩さん (干布小6年)



カラスによるふん被害や農作物への食害に対して、カラスを寄せ付けないよう生ごみを減らすなどの工夫を。

毎日、学校給食に出される牛乳のストローを、生態系に影響を与えず、自然分解される紙製のストローにしてはどうか。

こばやし たける
小林 丈留さん (第三中3年)



近年、道路の整備により便利で快適な生活ができるようになった反面、交通量が増え、危険を感じることもある。

また、新しい道路ができたため信号が必要になった交差点や、冬の通学路歩道の除雪について、市ではどのように考えているのか。

わらしなあかね
藁科亜華寧さん (荒谷小6年)



通学班長として通学の安全を心掛けていますが、途中の道が狭く、低学年が事故に遭わないか心配である。

また、山寺に続く道路は交通量が多いにもかかわらず、一部歩道も無く危険である。道幅を上げたり、歩道を設置するなど、市の考えは。

このの いぶき
今野 偉吹さん (第四中3年)



私たちの通学路にはグリーンベルトが設置されているが、狭いうえに道路の片側にしか設置されておらず、対向する歩行者とのすれ違い時は危険である。

グリーンベルトを両側に設置することや幅を広げる対策が必要では。

議長 おおた さき
太田 咲さん (第一中3年)



全国的に競争が激しいふるさと納税だが、寄附によって自治体を活性化させることから、寄附者が返礼品を得ることに目的がずれてしまっている。

寄附金の使い道をもっと具体的にすれば、本来の目的に沿うものとなると思うが、市の今後の取り組みは。

くにいひなの
國井日菜乃さん (第四中3年)



先日、カラスがごみ集積所のごみを荒らし、ごみが散乱して地域の方が困った様子で掃除をしていた。

そこで、ごみの管理方法を周知するポスターを小中学生に描いてもらっては。また、集積所をネットではなく、ボックス型にしてはどうか。

まつだ ないき
松田 乃樹さん (第二中3年)



高齢者が暮らしやすい社会を目指して、予約制乗合タクシー「ドモス」をもっと利用しやすく見直すべき。

料金を下げたり無料バスへの変更や、年末年始など連休が続く場合も運行し、その財源の確保には税金ではなく、募金や広告収入を充ててはどうか。

市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、9月5日・6日の2日間の日程で、11人の議員が行いました。

道路の街路樹等の環境整備や危険なブロック塀の対応、学校給食無料化などについて市長や教育長等の見解を求めました。

※ 議員の原稿をそのまま掲載しています。



教えてケロっす

A 議員個人の立場から、市長等に対し、市政全般について質問することをいいます。

Q 一般質問って何ですか。

★日本共産党天童市議団

石垣昭一 議員

- * 学校給食の無料化について
- * 危険なブロック塀の対応について

伊藤和子 議員

- * 道路の街路樹や植栽等の環境整備に市民の協働の力を借りることについて
- * 自主防災組織の育成と災害時要支援者登録の実態について

★清新会

武田正二 議員

- * 水害等・減災に対する取り組みについて

水戸芳美 議員

- * 敬老会について
- * 消防団について

鈴木照一 議員

- * 天童市の将来像と広域連携について
- * 住民サービスの拡充について
- * 中小企業振興について
- * 天童の遺産について

★ついでに創生の会

菅原隆義 議員

- * スポーツを通じた本市の発展について
- * 側溝の整備について

三宅和広 議員

- * 今回の豪雨災害を踏まえ「災害廃棄物処理計画の策定」や「SNS(会員制交流サイト)を活用した情報伝達体制の整備」といった本市の災害対策の見直しについて

遠藤喜昭 議員

- * 遊休農地、耕作放棄地解消に向けての取り組みについて

★政和会

佐藤俊弥 議員

- * 都市基盤整備と美しいまちなみづくりについて
- * 天童市スポーツセンター周辺の交通事情について

結城義巳 議員

- * 自然災害への対応について
- * 地方財政の健全化へ向けて

後藤和信 議員

- * 介護予防対策について
- * 耐震化について

9 月 定 例 会

審 査 日 程

平成30年度第3回市議会定例会(9月定例会)は、8月31日から9月21日までの22日間の会期で開かれました。

初日の本会議で、市長提出の人事議案2件について採決が行われました。そのほか、平成29年度決算議案11件、平成30年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案8件及び条例議案等3件については、決算特別委員会、予算特別委員会及び所管常任委員会に付託され、右記日程での審査を経て、最終日の本会議で採決が行われました。

(採決結果は15ページに掲載してあります。)

月 日	内 容
8/31(金)	本会議 (会期の決定、提案理由の説明、予算特別委員会、決算特別委員会の設置など)
9/5(水) 9/6(木)	本会議 (市政に関する一般質問)
9/7(金)	総務教育常任委員会・環境福祉常任委員会 (付託案件の審査)
9/10(月)	経済建設常任委員会 (付託案件の審査)
9/11(火) 9/12(水) 9/13(木)	決算特別委員会 (付託案件の審査)
9/14(金)	決算特別委員会 (付託案件の審査、討論・表決)
9/18(火)	予算特別委員会 (付託案件の審査、討論・表決)
9/21(金)	本会議 (委員長報告、質疑、討論、表決など)



危険なブロック塀撤去の補助制度創設を

石垣 昭一 議員

大阪北部地震で女子児童

が犠牲になり、危険なブロック塀の撤去が課題となる中、自治体独自の補助制度の創設や制度を拡充する動きが広まっている。本市でも市民から支援を求める声があり、早期に補助制度を創設すべきと思うが考え

を伺いたい。

山本市長 市では通学路を含む市全域の道路に面したブロック塀等を対象に設置状況の緊急確認を実施した。今回の調査で、現在の建築基準法の規定に適合しない危険なブロック塀等は、高さ2・2mを超えるもの

が39カ所、高さが1・2層

を超え2・2層以下で控え壁設置の要件を満たさないものが2901カ所あった。

今後の対応としては、市報や市ホームページを通しての注意喚起や所有者に改善を指導する文書を送付するなど、安全点検や撤去、改修に向けた協力を求めていきたい。

補助制度については、国や県の動向を注視し、来年度からの実施に向け、調査

学校給食無料化の拡充を

研究していきたい。

子ども健全な発達を支えるうえで、学校給食は重要な役割を果たしている。無料化によって給食費の心配がなく、平等に全ての子どもたちに給食が提供できることが望ましいと思う

が、現在の第3子以降無料化事業を拡充することについて伺いたい。

相澤教育長 本市では、平成29年度から子育て多子世帯の経済的負担軽減を図るため、第3子以降の児童生徒の給食費を無料とする事業を実施している。

県内では、小中学校の給食費完全無料化を実施している鮭川村をはじめ、本市のように一部無料化など自治体によってさまざまである。事業の拡充については、県内外自治体の取組事例を調査したい。



自主防災組織の育成と災害時要支援者登録の実態

伊藤 和子 議員

自主防災会は、市内全域に組織されたが、もつと単位自主防災会へのきめ細かな指導が必要ではないか。

地区自主防災会連絡会へ防災無線の資機材が整備されたが、いざという時、有効に活用できるよう指導すべきと考えるがどうか。

災害時要支援者登録の状況と実態は。

山本市長 近年、大規模な災害が頻発している。行政対応だけでは限界があり、自主防災組織の活動が重要になっている。

自主防災会が99組織され、地区ごとに自主防災会

連絡会を組織している。

地域活動が多様化する中、防災活動が進められていない組織もある。地域の恒例行事などを活用して、住民の防災への関心を高める啓発活動などを実施できるように支援したい。

防災無線については、各地区の実施状況を再確認し、定期的に試験や訓練が実施されるよう支援したい。

災害時要支援者登録者数は、7月末現在で1811

道路の美化活動に市民の協働の力を

人となっている。多くの市民から理解と協力を得られるよう周知を図り、制度の充実を推進する。災害時に支援が必要な方を自主防災会等で避難支援をしてもらえよう、働きかけを行っていく。

天童市は切れ目なく区画整理事業に取り組んできた。道路や公園など緑地面積が

増えている。市民の協力を得るための支援策を。高齢化が進み、手入れ困難な地域も出てきている。維持管理費の増額と作業員の増員を。

山本市長 維持管理計画に沿って剪定や草刈りをしている。樹木の成長に応じた維持管理経費が必要と考えられる。今後とも計画的な予算配分をする。市道マイロード事業で22団体の協力があがり、市民との協働の取り組みが少しずつ進んでいる。



洪水ハザードマップ作成の進捗状況は

武田 正二 議員

昨年の12月定例会で、洪水ハザードマップの作成状況を質問した。その時の回答は、5年以内の県の河川洪水浸水想定見直し（天童市に關しては、倉津川、乱川、押切川、立谷川の4河川）を待つて必要な改訂を行うということだった。

しかし、その後、西日本豪雨災害、最上・庄内豪雨災害もあり、早急にハザードマップの作成をしなければならぬと考えるが、現在の進捗状況は。

山本市長 県が管理する倉津川、乱川、押切川、立谷川については、今年度、洪水

浸水想定区域の見直しを行っており、平成30年度末の公表が予定されている。

公表後、市の洪水ハザードマップの改訂作業に着手し、約6カ月の作業期間を見込んでいます。平成31年9月ごろを目途に、改定後の洪水ハザードマップ西部版及び東部版を全戸配布するとともに、市ホームページなどで市民に知らせたいと考えています。

防災士の資格取得に補助金制度を

天童市でも少しずつではあるが、防災士の資格を取ろうという人が出てきている。しかし、県からの資格取得に対する補助額が減額され、地域で防災士の資格を取ろうとしていたが、自己負担が増えたのでちゅうちよしているという話もある。減額分の補助を市で補ってはどうか。

山本市長 近年頻発する自然災害に備え、地域防災力の強化を図るために、防災の十分な意識、知識、技能を有する防災士の養成と活動が大変重要である。本市でも多くの防災士を養成できよう、自主防災組織や市民への理解を促進していく。

なお、防災士資格を取得される際の費用の負担軽減については、他市町村の状況を踏まえ検討したい。



消防団員に、準中型免許取得する場合、補助すべきでは

水戸 芳美 議員

道路交通法が平成29年3月に改正され、普通免許で車両総重量3・5ト以上が運転できなくなった。配備中の消防ポンプ車は、3・5ト以上5ト未満であり、改正前の普通免許取得者は、5ト未満まで運転でき

るため問題ない。しかし、今後普通免許を取得する消防団員は、3・5ト以上は運転できないことから、準中型免許を取得する場合に補助すべきである。

また最近では、オートマチック限定免許の人も多い。今後は、消防ポンプ車もマニュアル車から、オー

トマチック車に変更していくべきである。

山本市長 現在92・5割の団員が配備された消防ポンプ車を運転できる資格を有しており、準中型免許取得に係る経費の助成については、今のところ考えていない。また、今年度から普通免許で運転可能な消防ポンプ車も開発されており、運転免許に合わせた車両更新をしていく。なお、準中型免許取得者の確保が困難に

なった場合、各市町村の状況を見ながら調査研究していく。

また、マニュアル車に關しては、徐々にオートマチック車に移行していく。

敬老会は学年単位で招待すべきでは

敬老会の招待者は、年齢がその年の12月31日までに77歳以上となる方を対象としている。最初に迎える年は、学年が同じでも、1月

から3月生まれの人1年遅れで招待となり、同じ仲間と敬老会を迎えたいという意見があった。3月生まれまでを対象とすべきである。また、対象年齢を77歳から引き上げる考えはあるのか。

山本市長 学年での招待については今後、さまざまにご意見を伺いながら検討していく。また、現時点で対象年齢を77歳から引き上げることは考えていない。



**住民サービスの拡充
各種税金も電子決済へ**
鈴木 照一 議員

水道料金や市民病院の支払いにクレジットカードを使用できるようにした。今後は、クレジットカード等での電子決済の対象を、各種税金まで拡大してはどうか。

山本市長 上下水道料金は、今年度からインター

ネットを利用して登録することで、クレジットカードによる支払いが可能になった。また、市民病院の窓口支払いについては、平成22年度からクレジットカードによる支払いが可能であり、6年間で約2・5倍の利用増となっている。なお、

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と



スケートボードパークの整備を
原 隆義 議員

公園や駅前などでスケートボードを行っているのを見かけるが、危険・迷惑な行為があり、市民からの苦情や、施設の損傷などの問題が発生している。

スポーツ推進計画の推進にもつながると考えるがどうか。また、県総合運動公園に施設整備を提案しては。 **山本市長** 競技人口やニーズを的確に把握し、費用対効果を見極め判断していく。県総合運動公園に整備されれば、にぎわい創出や

今後PRに努めたい。

遠藤総務部長

クレジットカード納税は、全国で33都道府県、159の市町村が導入し、増加傾向にある。スマートフォンを利用した決済方法も合わせ、納税者の利便性向上のため、導入に向けた検討を進めている。クレジットカード納税は、導入に当たりシステム改修に多額の経費が見込まれるので、今後予定されている基幹システムの更新時期に合わせ

た導入を検討している。

**織田の里天童から
新時代の楽市楽座を**

全国では、商工会議所等がインターネット上の仮想商店街を運営し、地域の活性化に取り組んでいる事例がある。まさに、新時代の楽市楽座といえる仮想商店街を、民間活力を引き出し、織田の里天童から発信してはどうか。

山本市長 仮想商店街を

ネット上に展開しようとする取り組みは、事業者にとつて商取引の拡大を図る上で一定の効果があると考えるが、仮想商店街の運営事業者として新規参入するのは難しい。民間経営による提案があれば、支援のあり方を研究したい。

森谷経済部長 市内事業者の商取引はもちろんのこと、天童市のPRを含めた新たな事業展開の提案があれば支援していきたい。

魅力アップにもつながるが、新スタジアム建設誘致の公募を控え、スケートボードパークの提案は時期尚早である。

松浦市民部長

市スポーツセンターへの整備は、本市にスケートボード競技の団体がなく、整備の要望もいたため、既存施設の長寿命化を図ることが優先である。 **小笠原建設部長** 市内の公園は狭く、設置場所の確保が困難なことや住宅地で夜

間の騒音等が問題となるため公園への整備は難しい。

側溝のふた掛けを

側溝の経年劣化で水の流れが悪く、溜まっている場所もあるが対策は。側溝のふた掛けは、車の交通量や子どもの通学路等の要因も検討材料に含める必要があると考えるがどうか。また、ヤマザワ長岡店の西側市道の側溝のふた掛けにつ

いての見解は。

山本市長 道路パトロール点検の強化で計画的に側溝修繕をしている。側溝のふた掛けは、電柱を私有地へ移設してから行うことが基本方針だが、交通量や地域の状況に応じ、道路の安全対策として自治会と相談して進めていく。

小笠原建設部長 町内会と連携を図り、民地建柱を行ういくつか側溝のふた掛けをしていく。



災害廃棄物処理計画の策定状況は

三宅和広 議員

最近の豪雨災害で、災害廃棄物処理計画が未策定であった自治体で仮置き場の選定に時間を要し、ごみの受け入れが困難となり、復旧作業や住民生活に支障を来したと報道されている。本市ではまだ災害廃棄物処理計画を策定していない

が、早急に策定し万一に備える必要があるのではないか。本市の策定状況はどのようなになっているのか。山本市長 来年度中に災害廃棄物処理計画を策定したいと考えている。ただし、仮置き場の選定などの重要な項目については今年度中



待ったナシ 遊休農地・耕作放棄地の解消を！

遠藤喜昭 議員

就農者の減少・高齢化、担い手不足などにより、遊休農地や耕作放棄地の面積が拡大している。特に本市東側の樹園地では病害虫の伝染や鳥獣害の被害も拡大している。ふるさと納税の返礼品として好評でもある本市特産の果物も確実に生

産が減少していく。これまでの対策だけでなく、農業関係機関、民間を交えた対策に向けた研究機関の創設や、認定農業者だけでなく、兼業農家へのきめ細かな支援など、本市独自の解消に向けた対応を推し進める時期にきているのではないかと

災害廃棄物処理計画で定めること

- ・廃棄物発生量の推計
- ・仮置場の設置、運用方針
- ・生活ごみ、避難所ごみ、トイレのし尿の処理体制
- ・周辺自治体との連携事項

災害廃棄物対策指針（環境省環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）を参考に作成

に検討し、災害に備えていきたい。松浦市民部長 天童市内でもさまざまな災害が想定される。そうした災害を想定

SNSを災害発生時に活用する考えは

フェイスブックやツイッターなどのSNS（会員制交流サイト）は情報を瞬時に拡散することができる。そのため、災害時の情報発信・情報収集手段として、SNSを導入する自治体が増えている。本市においても災害時に

して、仮置き場を指定していききたいと考えている。

SNSを活用して情報発信・情報収集をする必要があるのではないかと。山本市長 情報の拡散など新たな情報伝達の効果が期待されるため、今年度中にフェイスブックの運用を開始する予定である。また、災害時の情報伝達に限らず、生活情報や観光情報など市政全般の情報を発信し、親しみを持って利用したい。



山本市長 農林業センサスの調査（平成27年）をベースにすると、10年後には、

就農者が約800人の減少、遊休農地は1700（うち樹園地約1000）が増えることが見込まれている。中心的な担い手の規模拡大を支援し農地の集積・集約を進める一方で、山間地等の耕作条件の不利な農地は山林に戻すことや農業団地の整備なども必要と考える。農業関係者や専門家

新体制農業委員会の積極的な意見に期待

平成29年7月の改選で農業委員19人、農地利用最適化推進委員8人が選出され1年が経過した。農業のスペシャリスト集団という認識であり、諸問題の解決に向けた闊達な議論と本市への意見に期待している。今年4月会長に就任された所

信と合わせ、どのように取り組んでいるか伺いたい。堀越農業委員会会長 農業を取り巻く環境は大変厳しいが、活発な議論・研修などを通し見識を高め、遊休農地の解消や拡大の防止に向けて取り組んでいる。これからの農業振興を図る上で若者が定着できる環境づくりが重要。地域の関係者をはじめさまざまな方々と議論を進め、課題の克服に向け取り組んでいく。



幹線道路と
美しい町並み整備の計画は

佐藤 俊 弥 議員

市内にはまだ街路樹が植栽されていない路線がある。新たに開通した清池南小畑線の沿道整備について、一貫性のある街路樹の植栽計画を考えているのか、空間と景観をデザインすることで付加価値を高め本市のイメージアップにつ

ながると思うが、市長の考えを伺いたい。また芳賀タウンから清池南小畑線にだんだん細くなり、一車線になって、また広くなるが、いつまでの規制なのか伺いたい。
山本市長 街路樹が植栽されてい

- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と
- 王将
- 金将
- 銀将
- 金
- 桂馬
- 金
- 香車
- 金
- 飛車
- 龍王
- 角行
- 馬
- 歩兵
- と



山崩れ・土砂災害危険地域に
対しての災害未然防止対策は

結城 義巳 議員

災害から命を守るには、未然の対策が重要である。若松から金毘羅周辺は土砂災害が心配である。毎時の降雨量を測定し、適時に避難する計画があるのか。平成17年の集中豪雨により、山口の不動沢川に土砂が流出し、魚の住めない川

になった。その復元状況はどうなっているか。また、今後の激しい集中豪雨に、再び大きな災害にならない対策はあるのか。
山本市長 毎時の降雨量とすでに降った土壌中の水分量から判断し、土砂災害等の危険が予想される場合は

通しについて、統一感のある植栽を平成31年度に予定をしている。
小笠原建設部長 現在信号機

機を設置を要望している長岡金谷線交差点については、児童署から県の公安委員会へ信号機の設置優先順位1番という形で要望している。

市スポーツセンター周辺の
安全な交通整備を

市スポーツセンター南側

早めに住民へ避難情報を発し、情報の伝達をしていく。以前、不動沢川は魚が住んでいたと地域の方々から伺っているが、現在、魚はいないし原因もわかっていない。現在、事業予定者が採石事業の許可申請に向けて県と事前協議を進めている。国は10年に一度の豪雨に耐えられる沈澱池の整備を認可基準としているので、県に対して厳格な審査を引き続き要求していく。

駐車場から交り江に入る道路の安全対策について。道路上に電柱やふたのついていない側溝などがあり往来を妨げ、危険である。

山本市長 施設利用者の車両をスポーツセンター西側の三中成生1号線へ誘導し、幹線道路の利用を促したい。また、生活道路の安全対策として、電柱の民地建柱や側溝のふた掛けなど自治会等と調整を図ってきたいと考えている。

小笠原建設部長 スポーツセンター南側駐車場を利用した場合については、一旦西の方へ出て、広い三中成生1号線、給食センター前の通りに出て、そこから北

なり南の方へそれぞれ行く方法でPRをしていきたいと考えている。



▲狭い市スポーツセンター周辺の道路

地方財政の
健全化へ向けて

平成13年度に設けられた

「臨時財政対策債」は国が地方へ交付すべき地方交付税の財源不足分を地方に負担させるものである。地方交付税の財源総額は所得税を含めた五税の収入額に法定率を乗じて算出すること地方交付税法で定めている。財源総額確保はこの法定率を引き上げることができない

と考える。地方六団体が一体となって地方交付税法の改正を強力に国へ要求すべきでないか。
山本市長 恒常的な地方交付税の財源不足解消には、法定率の引き上げをすべきである。全国市長会や全国市議会議長会でも決議しており、これからも市長会等の動きに合わせて、地方交付税の法定率引き上げを国に対して強く要望していく。

議会のうごき

(7月19日～10月19日)

■7月

- 23日～25日 てんどう創生の会先進地視察(長野県佐久市・上田市・長野市)
- 23日 埼玉県白岡市議会・蓮田市議会視察来童
東根市外二市一町共立衛生処理組合議会全員協議会・定例会
- 24日 鹿児島県鹿屋市議会視察来童
- 26日 三重県津市議会視察来童
- 27日 ICT議会検討委員会(セミナー参加)
- 30日 市長要請経済建設常任委員会(新工業団地整備事業の進捗状況について)
- 31日 市長要請環境福祉常任委員会(市民病院中期経営計画の進捗状況について ほか)

■8月

- 1日 佐賀県佐賀市議会視察来童
- 2日 三重県伊賀市議会視察来童
群馬県高崎市議会視察来童
- 8日～9日 天童夏まつり
- 9日 山形県市議会議長会議員研修会(山形市)
- 10日 各派代表者会
- 21日 ICT議会検討委員会
- 24日 議会運営委員会
- 29日 福岡県福岡市議会視察来童
- 31日～9月21日 第3回市議会定例会
- 31日 決算特別委員会
広報委員会
全員協議会

■9月

- 3日 総務教育常任委員会所管事務調査(ICT教育について ほか)
- 6日 市長要請全員協議会
- 7日 市長要請環境福祉常任委員会(山交バス(山形～村山・北町線)の運行路線の再編について)
- 10日 市長要請経済建設常任委員会(ブロック塀等の緊急確認における結果報告について ほか)
- 18日 全員協議会
- 20日 議会運営委員会
- 21日 広報委員会

■10月

- 1日 市制施行60周年記念式典
- 3日 愛知県豊川市議会視察来童
- 4日 埼玉県川越市議会視察来童
- 5日 議会運営委員会
- 7日 模擬議会
- 9日 広報委員会
- 10日 岐阜県垂井町議会視察来童
- 11日 宮城県多賀城市議会視察来童
- 15日 千葉県富里市議会視察来童
- 16日 広報委員会
新潟県聖籠町議会視察来童
- 17日 徳島県吉野川市議会視察来童
市長要請経済建設常任委員会(雨水流出抑制施設整備工事について)
- 18日 山形県議会視察来童
市長要請環境福祉常任委員会(保育関係施設整備事業の進捗状況について)



介護予防フレイルの取り組みは

後藤 和信 議員

高齢になっても、地域の中で元気で暮らすために要介護状態にならないような介護予防の取り組みが進められている。フレイルという言葉が最近耳にすることが多い。健全な状態から要介護状態になるまでの中間的な段階で、加齢に伴って

心身の機能が低下し、要介護になる恐れが高い状態を指す。適切な取り組みでさまざまな機能が回復する可逆性があると言われていることから、今後の取り組みについて伺いたい。

山本市長 国は健康寿命の延伸を目指し、介護予防の

取り組みを進めている。市の要介護認定率は14・2%で県平均より3ポイント低くなっている。サルコペニアやロコモティブシンドロームなど筋力の低下が原因によるフレイル状態にならないよう低栄養、口腔ケア不足、社会から離れること等への対策を実施していく。

今後、従来の介護予防に加え、買い物支援を取り入れたリハビリ事業等を実施して介護予防に努めていく。

公共施設の非構造部材の耐震化を

公共施設の構造物の耐震化、また学校のエアコンの設置も今年度で終了している。公共施設の中で小さい子どもたちが通う小学校、保育園、児童館、学童保育等の非構造部材の耐震化はまだまだ進んでいない。

最近、日本各地で想定外の大規模台風や地震など自然災害が多発している。子どもたちの安全安心の立場から施設の窓ガラスの飛散防止対策等を早急に実施すべきである。

山本市長 窓ガラスの飛散防止対策については、一部の施設のみで実施している。子どもを安全を守るために窓ガラスの飛散防止対策の重要性は認識している。今後、市有施設については、長寿命化に関する個別施設計画を策定し、計画的に実施していく。



12億6538万5000円を 増額補正し 254億5148万4000円に

一般会計ほか特別会計補正予算は、予算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

委員 ふるさと納税の推進に要する経費2億8385万8000円は、**ふるさと納税推進室長** 先行受付分7億4773万4000円の経費で返礼品代2億2432万1000円、発送代5700万7000円、手数料253万円となっている。平成30年度はコンビニや携帯電話でも決済ができるようになる。

委員 シティプロモーション
委員 オリジナルイラスト作成業務委託料540万円

ふるさと納税
に要する経費1723万4000円についての内容は、**ふるさと納税推進室長** 平成29年度分の先行受付分のプレゼントの経費である、駒ストラップ・3月のライオン限定ノベルティ・天童産米お楽しみセットのプレゼント品代1364万7000円、封筒印刷代5万9000円、発送代352万8000円である。



▲ふるさと納税返礼品プレゼント 駒ストラップ

将棋駒の里の振興

一般会計補正予算の あらまし

主な内容 (単位：万円 単位未満四捨五入)

ふるさと納税の推進に要する経費	2億8386
児童扶養手当の支給に要する経費	777
元気な6次産業化ステップアップ支援事業費補助金	763
園芸大国やまがた産地育成支援事業費補助金	2465
畜産経営競争力強化支援事業費補助金	318
将棋駒の里の振興に要する経費	548

委員 元気な6次産業化ステップアップ支援事業費補助金762万7000円、園芸大国やまがた産地育成

農業の振興

の内容は。**商工観光課長** 「3月のライオン」との新たなコラボレーションとして本市らしい風景を活用したオリジナルイラストを作成し、これからの本市の観光やふるさと納税などに役立てるもの。天童駅へのウエルカムボード設置などを検討している。

支援事業費補助金2464万7000円の内容は。**農林課長** 元気な6次産業化ステップアップ支援事業費補助金は、山口地区で里芋の皮をむいて袋詰めして販売するための加工所整備と機械の導入に対して県が3分の1を補助するもの。また、園芸大国やまがた産地育成支援事業費補助金は、蔵増地区のネギ栽培と津山地区等のサクランボ栽培の加温ハウス設置等に対して山形県が12分の5、市が12分の1を補助するもの。



▲げんキッズで親子で楽しく遊んでいる様子

決算特別委員会

一般会計を含む11件を認定

平成29年度一般会計決算ほか、特別会計・企業会計決算は、決算特別委員会に付託され審査された後、本会議において、原案のとおり可決されました。

審査の主なものは次のとおりです。

ふるさと納税

委員 平成29年度のふるさと納税の寄附金は、28億9945万8837円となっているが、返礼品を寄附金額の3分の1にしたことにより、実績はどうか。

ふるさと納税推進室長 平成29年度の返礼品の支出額は、21億6753万6000円となっているが、これには見直し前に先行受付した返礼品額が入っていることから、前年度と比較できない。見直し後の寄附金件数及び額は、ともに減少している。

子育て未来館「げんキッズ」一時預かり事業

委員 ファミリーサポートセンターの利用件数が減っているのはなぜか。制度の周知・PRが不足しているのではないか。

子育て支援課長 送迎に伴い預かりも行う場合2件とカウントしているが、預け

る数が減っている。げんキッズの一時預かりが増加していることから、煩わしさがなく気軽に預けることができる一時預かりの利用が増えていると考えられる。これまでは、必要に応じ説明会や顔合わせ会を開催してきたが、平成29年度から定期的に土日開催をして、周知と利用促進に努めている。

移住・定住促進

委員 移住・定住促進PR動画制作委託料30万円の効果は。

地方創生推進監 観光を含めた天童市PR動画を平成29年10月からユーチューブで配信した。平成30年9月までのアクセス回数が1483回となっており、移住・定住相談件数は5件だった。

結婚活動支援事業

委員 新婚新生活支援事業

費補助金84万9000円は。
地方創生推進監 新婚に伴う経済的負担を軽減するため、新婚世帯に対して新生活に係る住居費、引越し費用を支援した。申請件数は7件で84万9000円である。

中学校自主学習会 全中学校で開催

委員 全中学校で自主学習会を開催したが、利用実態はどうだったか。

学校教育課長 長期休業中に学校施設を利用し、大学生や社会人の学習サポートの支援を得て、22〜26日間開催した。延べ参加生徒数は4490人。学習習慣の確立や長期休業中の計画的な過ごし方を考える力の育成にもなった。

実用英語技能検定

委員 中学2〜3年生の英検検定料の補助を行ったが効果は。

学校教育課長 検定料補助

により、受検率は中学2年生は51・7割、中学3年生は50・4割となった。取得率は67・6割で、中学3年生の英検3級以上取得者は平成27年度の12割に対し、平成29年度は21・9割となった。

福祉バス

委員 福祉バス2台の利用実績と平成29年度から実施した借上げバスの利用実績は。

社会福祉課長 主にかまた荘の送迎に利用する「敬老号」は153団体で3014人、いきいきサロン等の活動で利用する「福祉号」は175団体で3862人、また、借上げバスは9団体で300人の方に利用いただいた。

予約制乗合タクシーの利用推進

委員 登録者の増加と利用者の拡大に向けた、周知と取り組みは。

生活環境課長 予約制乗合タクシーの地元説明会を開催した。主に高齢者が集まる場や各種会合等で、パンフレットを配布し、具体的な相談に応じながら運行内容の説明を行った。登録者数は2182人、年間延べ利用者は8593人となっている。



▲市内を運行している予約制乗合タクシー「ドモス」

高齢者運転免許証自主返納者への支援

委員 自主返納者に交付された2万円のタクシー券が利用できずに残った場合は、どのように活用されるのか。

生活環境課長 202人の自主返納者にタクシー券等

を交付した。使いきれずに残ったタクシー券等は、手続きをすれば次年度に利用できる券と交換している。9月中旬までに115人が交換の手続きを行った。

農作物被害対策事業

委員 農作物被害対策1303万6000円の成果は。

農林課長 鳥獣被害対策実施隊（隊員数61人）を設置し、サル・クマ・イノシシ捕獲報奨金の増額等を行い、被害地域での駆除に努めた。また、市単独事業としてサル等用電気柵1240枚、イノシシ用電柵3160枚の助成を行い農作物の被害防止に努めた。

企業誘致事業

委員 荒谷西、天童インターの各工業団地、また、新たな団地への企業誘致をどのように進めてきたのか。

産業立地室長 東京に職員を派遣し、関東圏で274

件訪問した。また、県内の企業を138件訪問した。荒谷西工業団地は企業1社と契約し分譲率は約98%、天童インターは全て完売した。

建築支援事業

委員 定住促進・子育て世帯支援事業3995万円の具体的実績は。

建設課長 定住促進・子育て世帯支援事業の転入一般世帯は36件である。また、転入子育て世帯は65件で、市内子育て世帯は122件である。

空き家バンク事業

委員 空き家バンク利用による成約の内容は。

建設課長 平成29年度の成約件数は2件で、地域別では田麦野地域1件、長岡北地域1件である。平成27年度開始から累計で5件成約している。

公園管理事業

委員 公園の維持管理をするための貸し出し機や管理作業員の雇用の状況は。

都市計画課長 現在、草刈機は刈払機3台と、手押し式の2台を合わせ、計5台を貸し出している。平成29年度は、12人の作業員を雇用しているが、将来は15人の雇用を考慮しており、今後も地域との協働により、維持管理を行っていく。

決算特別委員会 正副委員長を互選

8月31日に開催された決算特別委員会において、委員長及び副委員長が互選されました。

◇委員長 山崎 諭
◇副委員長 佐藤 俊 弥

なお、決算特別委員会は、議長及び監査委員を除く全議員で構成されています。

平成29年度 各会計の決算

(単位：万円 単位未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	
一般会計	283億5100	268億8	
特別会計	国民健康保険	78億3537	72億8150
	用地買収	309	78
	財産区	215	164
	介護保険	53億8712	51億8344
	市民墓地	679	188
	後期高齢者医療	7億305	6億8397
	工業団地整備事業	6億2466	6億1569
合計	429億1323	405億6897	

水道事業会計	当年度純利益	2億3128万円
市民病院事業会計	当年度純利益	790万円
公共下水道事業会計	当年度純利益	1億9720万円

討論

9月21日の本会議において、決算議案1件と請願1件について討論が行われました。

▼認第1号 平成29年度
天童市一般会計決算

〈反対〉石垣 昭一議員

ふるさと納税寄附金を施設管理の経常経費に充てるのは異議がある。

女性委員の割合が低下している。市職員の女性の管理職が6・4割と低く、男女共同参画を進める行政の姿勢が問われる。

指定ごみ袋の証紙改定があり、ごみ収集では衛生委員の負担が大きかった。袋の等価交換を1年間したが、未だ旧袋で出される。緑地面積が年々増加し、管理が行き届いていない。樹木管理業務委託料の増額、作業員の増員を図るべきだ。

▼請陳第2号 日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願

〈反対〉笹原 隆義議員

現実的に核兵器のない世界を目指すためには、核兵器保有国も非保有国も共に協力し進めていく必要がある。

しかし、核兵器禁止条約に批准している国は14カ国しかなく、核保有国は1カ国も批准していない。核保有国と非保有国の対立が一層深まり逆効果になりかねない。

日本は現実的・実践的に核兵器のない世界を実現するため、核保有国も非保有国も双方が参加するよう積極的に取り組んでおり（NPT、CTBT、FMCCT、G7など）、世界平和に向けて今後とも日本が議論をリードするのを我々議会も注視していくべき。

〈賛成〉伊藤 和子議員

長年にわたり、被爆者をはじめ、日本と世界の草の

根の運動を正面から受け止めた条約の採択と、ノーベル平和賞をICANが受賞したことは、核兵器廃絶に大きく前進した。唯一の被

意見書の提出

総務教育常任委員会提出の意見書提出議案は、9月21日の本会議で原案のとおり可決され、意見書は関係機関へ送付されました。

▼日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准

することを求める意見書

2017年7月7日国連において、122カ国と地域の賛成多数によって「核兵器禁止条約」が採択された。また核兵器廃絶国際キャンペーンICANがノーベル平和賞を受賞し、国際社会は核の抑止力ではなく、核兵器廃絶による平和構築に大きく前進している。この条約は、核兵器の法的禁止の内容を定め、加盟国に核兵器の開発、実験、

爆国日本は、会議にも参加せず反対する態度で、国内外で失望と批判が出ている。天童市は非核平和都市宣言をしている。市民の皆さま

生産、製造、取得、保有、貯蔵などの禁止を義務付け、さらに、使用、使用の威嚇も禁じている画期的な条約である。

しかし唯一の戦争被爆国である日本が、核兵器廃絶の先頭に立つ責任があるにもかかわらず核保有国の立場に立つて条約に参加しないことは、被爆者の思いを無視し、核兵器廃絶による平和構築を求める国際社会の流れに逆行するものである。

天童市は非核三原則の堅持と恒久平和の実現を願い、平成12年8月21日に「非核平和都市」を宣言し、明るく住みよい幸せな市民生活を守る決意を表明しているが「核なき世界」の実現は、被爆者・日本国民・そして全世界の市民の切なる願いである。

んの核兵器のない世界の願いの実現のため、日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願を採択すべき。

よって、地球上から核兵器をなくすことこそ、唯一の平和への道であることを信じ、日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを強く要望する。提出先は衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣

請願・陳情の結果

今定例会で審査された請願・陳情は2件で、所管常任委員会で審査した後、本会議で採決が行われました。結果は次のようになりました。

件名	提出者	託付委員会	結果
日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請願	天童平和をつたえる会 代表 矢吹海慶 原水爆禁止天童市民の会 代表 澤 辰夫	総務教育	採択 (賛成多数)
種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	天童市農民組合 組合長 太田正良	経済建設	継続審査

提出された議案とその結果

平成30年度第3回市議会定例会に提出された議案とその結果は次のとおりです。

第3回定例会(8月31日～9月21日)〈市長提出議案〉

議案番号	件名	結果
報第10号	平成30年度天童市一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求めることについて	承認 (全会一致)
認第1号	平成29年度天童市一般会計決算	認定 (賛成多数)
認第2号	平成29年度天童市国民健康保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第3号	平成29年度天童市用地買収特別会計決算	認定 (全会一致)
認第4号	平成29年度天童市財産区特別会計決算	認定 (全会一致)
認第5号	平成29年度天童市介護保険特別会計決算	認定 (全会一致)
認第6号	平成29年度天童市市民墓地特別会計決算	認定 (全会一致)
認第7号	平成29年度天童市後期高齢者医療特別会計決算	認定 (全会一致)
認第8号	平成29年度天童市工業団地整備事業特別会計決算	認定 (全会一致)
認第9号	平成29年度天童市民病院事業会計決算	認定 (全会一致)
議第12号	平成29年度天童市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第13号	平成29年度天童市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定 (全会一致)
議第14号	平成30年度天童市一般会計補正予算(第3号)	原案可決 (全会一致)
議第15号	平成30年度天童市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)

議案番号	件名	結果
議第16号	平成30年度天童市用地買収特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第17号	平成30年度天童市財産区特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第18号	平成30年度天童市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第19号	平成30年度天童市市民墓地特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第20号	平成30年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決 (全会一致)
議第21号	平成30年度天童市工業団地整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決 (全会一致)
議第22号	天童市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第23号	天童市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	原案可決 (全会一致)
議第24号	市道の認定及び廃止について	原案可決 (全会一致)
議第25号	天童市副市長の選任について	同意 (全会一致)
議第26号	天童市教育委員会委員の任命について	同意 (全会一致)

〈委員会提出議案〉

議案番号	件名	結果
委員会提出議案第1号	日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書の提出について	原案可決 (賛成多数)

議案等に対する議員の賛否一覧表

(賛否が分かれたもの。これ以外は全会一致)

議案	議席番号	氏名																					
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		熊澤光史	笹原隆義	三宅和広	遠藤喜昭	佐藤俊弥	渡辺博司	武田正二	水戸芳美	遠藤敬知	村山俊雄	狩野佳和	松田光也	山口桂子	結城義巳	後藤和信	山崎論	石垣昭一	鈴木照一	伊藤護國	水戸保	伊藤和子	赤塚幸一郎
認第1号	平成29年度天童市一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請陳第2号	日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める請陳	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	議
委員会提出議案第1号	日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書の提出	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	議

※ ○=賛成、×=反対、議=議長(議長は採決に加わらない。)

※ 会派：清=清新会、て=てんどう創生の会、政=政和会、共=日本共産党天童市議団、無=無会派

議会報告・意見交換会の検討結果

5月に開催された議会報告・意見交換会において、市民の皆様から出された市政に関する意見・要望等については、アンケートに記載されていた項目も含めて、全て市長に文書で伝えました。その中で、各常任委員会で調査した項目については、次のとおりです。

市政に関する意見・要望等	調査した結果	担当
防災行政無線の整備に当たり、以前は地元負担があったが、本来は市で負担すべきでなかったのか。一日町は今も整備していないようだ。 (会場：天童南部公民館)	平成23年度から連絡会への無線機の整備を進め、補助金額は500,000円が限度額でした。そのため、自主防災会の数が多い連絡会については一部地元負担がありましたが、要望等により平成29年度からは全額補助としています。一日町自主防災会の所属する天童南部地区自主防災会連絡会については、平成28年度に整備を行っており、一部地元の負担（世帯数割）があったため、整備は各自主防災会の判断とし、一日町と田鶴町自主防災会は整備しませんでした。その後、同年度に田鶴町は、資機材の更新補助を使い無線機を購入しました。一日町は未整備です。今後、一日町で整備するのであれば、南部連絡会の追加での整備として補助金を使うことも可能です。	総務教育
空き家対策として、鶴岡市で取り組んでいる「ランドバンク」のように、市と民間が連携をしてプロジェクトとしてやってほしい。 (会場：天童中部公民館)	民間との空き家対策として、空き家バンクに不動産物件の掲載や空き家相談会などを行って連携を図っております。今後も、民間との連携をより一層強化していくように努めていきたいと考えています。	経済建設
昨年は千葉県で子どもの惨殺事件があり、今年も新潟県で同様の事件が起こっている。議会として防犯カメラ設置とか、抑止力を考えてほしい。 (会場：天童中部公民館)	現在、市では駅前駐輪場や公園など、不特定多数の方が利用する公共施設等20カ所に28基の防犯カメラを設置し、犯罪の予防に努めています。 しかし、最近の子どもの事件は、下校時に友達と別れてから被害に遭うことが多く、こうした場所は市内の広範囲に及ぶことから、防犯カメラで対応することは困難です。 そのため、子ども見守り隊や防犯協会など地域の皆様からご協力をいただき、青パトによる巡回を行うとともに、「みんなが見守っている地域」、「犯罪しにくいまち」であることを繰り返しアピールしていくことが、大切ではないかと考えています。また、日頃の生活の中で子どもたちが帰る時間に合わせて散歩をしたり、庭の水かけをしたりするなど、「ながら見守り」も犯罪抑止につながりますので、今後とも協力を呼び掛けていきます。 児童・生徒数が減少する中で、下校時に一人になることがあると思います。これについても、集団で下校するよう、繰り返し、声掛けや日常の安全指導を徹底し、犯罪を防止していくことが必要であると考えているところです。	環境福祉
各町内に防災無線が入る。防災無線が故障した場合はどうなるのか。 年中無線が鳴っているのか。何も教えてもらえず、持っていると言われていた。マニュアルも何もない。 (会場：天童北部公民館)	無線機の使用については、災害発生前や発生時、災害情報や避難情報等を市から市立公民館に連絡、その情報を公民館から各自主防災会に連絡する際に使用します。また、市立公民館（避難所）と自主防災会間で、被害情報等の情報収集や、住民の避難について連携する際など、組織間の情報収集・伝達手段を確保するものです。購入に関しては市が全額補助、維持管理経費（電波利用料：一台450円、再免許更新登録料：5年ごとに7,000円）は連絡会での負担となります。故障した場合の修理の補助はないので、新たに購入となれば補助の対象となります。導入の前年度から、連絡会の役員に無線整備の概要を説明し、理解してもらった後に導入申請をしていただいています。導入の際は、操作説明を行い、無線の試験や訓練また運用マニュアルの整備などに対して危機管理室で支援を行っています。	総務教育
空き家の調査が市民に落ちてこない。町内会で調べるといっておきながら、データだけ吸い上げて何も報告がない。 (会場：天童北部公民館)	空き家の調査にご協力いただきありがとうございました。今年5月15日号の市報においても、調査結果を公表しております。 また、6月には、各自治会長宛に送付をしているところです。	経済建設
地域に特にひどい空き家が存在する。子どもの通学でも危険。事故が起きてからでは遅い。何とかしなければならぬがどうすべきか。 (会場：津山公民館)	現在、市内の空き家の老朽度・危険度について調査を行っています。その結果を基に、危険な空き家等については、特定空き家等の認定も含め指導していきたいと考えています。 また、解体の補助については、一定の基準を満たした不良住宅が対象となります。	環境福祉
上貫津は山のごみ問題（家電製品などもある）がある。青壮年会でごみ回収した。議員にも頭に入れてほしい。 (会場：津山公民館)	不法投棄対策については、日頃から、各地域の衛生委員の皆さんによる不法投棄防止パトロールや、地域住民の皆さんによる河川一斉清掃不法投棄物の回収などにご協力をいただき、ありがとうございます。 不法投棄は山間部や河川敷、道路沿いの農地などで毎年発見されており、依然としてなくなるのが現状です。 市では、不法投棄の連絡をいただくと、職員が現場を確認し、撤去作業を行っています。また、地域の団体等に、不法投棄を防止するための看板やのぼり旗を提供するとともに、常習箇所にはカメラの貸し出しなどを行っています。市環境衛生組合連合会では、大型家電などクリーンピア共立で引き取らない物があった場合に、20,000円を上限に処理費の助成を行っています。 今後とも、市環境衛生組合連合会や地域と連携し、巡回パトロールを強化しながら、環境保全・美化活動に努めていきますので、不法投棄物を発見した場合には、市にご連絡をお願いします。	環境福祉

市政に関する意見・要望等	調査した結果	担当
<p>山口小学校前の歩道橋の老朽化が著しく、穴が開いているところもあり、議会としても国に修繕していただくよう要望してほしい。</p> <p>(会場：山口公民館)</p>	<p>国道48号の歩道橋を管理する山形河川国道事務所に確認したところ、大規模改修の計画予定は現在のところありませんが、穴が開いているところについては、6月に補修を完了したとのことでした。</p> <p>また、穴開き等の破損があれば、必要な修繕を行うこととしており、今後、道路パトロールにて点検を強化し、地元の方で気付いた事があれば、国道維持出張所まで連絡してください。との回答がありました。</p>	
<p>クマが目撃されたときの連絡が農林課か警察から関係機関に連絡が入ると思うが、どういった状況で連絡が入るのか、連絡網はどうなっているのか明確にして欲しい。また、休日や緊急時に必ず受け手と連絡がつくように、各施設の連絡先だけではなく携帯も登録するべきである。小学校が代休で休みだった。校長も先生方もまったく知らなかった。連絡が必要では。</p> <p>天童高校付近にクマが出没したが、市立第二中学校に連絡が入らなかった。どうなっているのか。</p> <p>(会場：山口・長岡公民館)</p>	<p>クマを目撃した際には、まず警察へ連絡をしてもらい、天童警察署から市へ連絡が入り、市から小中学校、保育園、幼稚園、公民館、町内会等の関係各所へ連絡をします。</p> <p>休日や緊急時の場合については、小中学校への連絡体制が不十分だったため、教育委員会教育総務課担当職員を通して学校へ連絡がいくように改めました。</p> <p>また、地域住民に対しては、市一斉メールの配信のほか、広報車により注意喚起を促すようにしています。</p> <p>なお、平成30年5月21日午後3時頃の天童高校付近にクマが出没した際には、農林課から天童市立第二中学校へ連絡を行っています。</p>	
<p>山形市では、依頼があれば1回5,000円で消毒をしている。天童市でもできないか。</p> <p>(※空き家の防虫対策について)</p> <p>(会場：高揃公民館)</p>	<p>山形市（空き家担当課等）に照会したところ、該当する担当部署が確認できませんでした。</p> <p>消毒の件につきましては、空き家の管理義務は所有者にありますので、所有者の所在を調査し、適切な管理を指導していきたいと考えています。</p>	
<p>放任空き地の管理について、生活環境課に防災の点について相談している。固定資産税で持ち主は確認できるが、なかなか連絡できない。</p> <p>(会場：長岡公民館)</p>	<p>空き地については、雑草の繁茂や害虫の発生などにより、近隣の住民からの苦情が寄せられた場合、市職員が現地を確認したうえで空き地の所有者に対して文書等で連絡を取り、雑草の刈り取り等をお願いしています。今回の場所については、昨年度も市が雑草の刈り取りを依頼した場所であり、5月頃は雑草が生えていましたが、その後、雑草の刈り取りと除草剤散布が行われたと聞いています。</p> <p>苦情が寄せられる空き地については、複数年にわたり同様の対応をしている場所もあり、対応に苦慮しているところですが、今後も引き続き対応していきます。</p>	
<p>介護認定世帯だけでなく、障がい者・高齢者世帯にも間口除雪サービスを実施してほしい。</p> <p>寒河江市方式を取り入れながら、市道だけでなく、県道に面した道路の除雪を実施してほしい。</p> <p>(会場：干布公民館)</p>	<p>間口除雪については、平成29年度に対象者を限定した形（要介護認定3以上の方のいる高齢者のみの世帯）で試験的に実施を行いました。</p> <p>その中で、対象者を拡大してほしい等の要望をいただいておりますが、対象者の拡大に向けては、個人情報保護や、実施体制の拡大に課題がある状況にあります。</p> <p>昨年は、県道に面した対象者宅も除雪対象としておりますが、今年度の間口除雪の実施に向け、他市の状況も研究し、課題を整理しながら、今年度の計画を検討していきます。</p>	
<p>空き家対策の内容を見ると、建物に価値が高い所ばかりである。建物の価値が低い地区は、空き家対策に該当しないのでは。</p> <p>(会場：干布公民館)</p>	<p>昨年、天童市空き家等対策計画を策定しております。その中で、空き家の定義として、建築物又はこれに附属する工作物で居住その他の使用がなされていないものとされております。そのため、建物の価値にかかわらず空き家対策に取り組んでおります。</p>	
<p>荒谷橋について、進捗状況はどうか。市道の取り付けはどうなるのか。</p> <p>(会場：荒谷公民館)</p>	<p>県道山形山寺線の荒谷橋架け替え事業につきまして、事業を行っている県村山総合支庁に確認したところ、今年度末までの予定で橋桁を工場製作中です。来年度以降の橋及び取り付け道路の工事計画について、来月に地元説明会の開催を予定している、とのことでありました。</p> <p>また、県道に接続する市道上荒谷内条線については、県道事業の進捗に併せ道路改良を予定しています。</p>	
<p>本日の報道で山寺が日本遺産になったが、天童は何を目標にして、観光につなげるのか。</p> <p>(会場：荒谷公民館)</p>	<p>今年、「山寺が支えた紅花文化」が日本遺産に認定されました。</p> <p>「山寺が支えた紅花文化」には紅花畑、山寺、若松寺、最上川、花笠まつり、紅花まつりなどの資源が構成文化財になっています。</p> <p>7月18日に本市をはじめ、山形市、寒河江市、尾花沢市、山辺町、中山町、河北町の4市3町の地域関係者、紅花関係団体、観光関係団体、行政などで構成される「山寺と紅花」推進協議会が設立され、今後は同協議会においてさまざまな事業を進めていく予定になっております。</p> <p>県内最大の作付面積を誇る本市の紅花畑に加え、古くからゆかりのある山寺もあることから、この機会に全国にPRするとともに観光誘客に努めてまいります。</p>	

経済建設

ICT教育・ 学校給食を事務調査 (総務教育)

9月3日、総務教育常任委員会で、ICTを活用した学校教育と学校給食の現状について所管事務調査を実施しました。

授業にタブレット端末を導入している寺津小で、実際にタブレット端末や電子黒板を使った授業の視察と、活用方法の研究について成果の説明を受けました。

また、学校給食センターでは、施設移転から10年が経過し、アレルギーへの対応など学校給食の新たな課題について調査を行いました。



▲タブレットを使った授業の様子

教えてケロっす



インターネット配信の議会中継が新しくなりました。視聴はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでもご覧いただけます。
(通信に係る費用は利用者の負担となります。)

インターネット議会中継
スマホやタブレットでも



東根市外二市一町共立衛生処理組合議会

7月23日に第2回定例会が開催され、平成29年度組合会計決算(下表)などが認定・可決されました。

平成29年度組合会計決算

歳入 (単位：千円、単位未満四捨五入)

区分	決算額	摘要
市町負担金	823,221	天童市：307,243 東根市：264,192 村山市：133,932 河北町：117,854
償還交付税	87,708	組合債返還のため、国から交付された額
使用料及び手数料	818,833	ごみ・し尿処理手数料、ごみ袋売上金など
国庫支出金	441	廃棄物処理施設モニタリング事業費補助金
財産収入	55,867	
繰越金	65,781	
諸収入	17,361	
計	1,869,212	

歳出 (単位：千円、単位未満四捨五入)

区分	決算額	摘要
議会費	1,085	組合議員報酬など
総務費	334,999	職員給与費、手数料徴収費など
事業費	1,243,237	ごみ・し尿処理費用など
公債費	230,915	
計	1,810,236	

旧指定ごみ袋をお持ちの方へ

市生活環境課での旧指定ごみ袋の交換は終了しましたが、まだ手元に残っている方は、市生活環境課にご相談ください。

教育委員会委員の 任命に同意

教育委員会委員の大貫紀代子氏が平成30年9月30日をもって任期満了となることに伴い、同氏の後任として新たに松村昌子氏(久野本)を任命することに同意しました。

高掬地区財産区 管理委員会委員を選出

欠員補充に伴い、高掬地区財産区管理委員会に、高橋克巳氏(清池)を選出しました。

副市長の選任に同意

副市長の新関茂氏(久野本)が平成30年10月27日をもって任期満了になることに伴い、同氏を再び副市長に選任することに同意しました。

議会報告・意見交換会を開催します。

議会の活動状況や議会で特に議論になった話題などについて報告するとともに、地域の課題についての意見交換を、議長を除く全議員で行います。ぜひ、ご参加ください。

【下記の日程で、各市立公民館で午後7時から行います。】

1班

11月13日(火) 山 口※
11月14日(水) 高 揃
11月15日(木) 天童南部

鈴木照一、後藤和信
山口桂子、渡辺博司
三宅和広

※田麦野地区は、山口地区と
合同で市立山口公民館で行います。

2班

11月13日(火) 天童中部
11月14日(水) 蔵 増
11月15日(木) 荒 谷

伊藤和子、結城義巳
遠藤敬知、水戸芳美
熊澤光吏

3班

11月13日(火) 天童北部
11月14日(水) 寺 津
11月15日(木) 津 山

水戸 保、石垣昭一
山崎 諭、狩野佳和
武田正二、佐藤俊弥

4班

11月13日(火) 干 布
11月14日(水) 長 岡
11月15日(木) 成 生

伊藤護國、松田光也
村山俊雄、遠藤喜昭
笹原隆義

市民の声

私は、天童市民になって25年になります。25年の間に天童市は、いろいろな地区で宅地や商業地、工業地が開発され発展してきました。

この発展は、市民の投票で当選した市議会議員の方々が、市民の代表として要望などを市政に伝え協議を繰り返してこられたからであり、議員の皆さんに住み良い市にしようとする強い思いがあったからだと思います。

今回、久野本東2区いきいきサロンの行事で、9月6日に市議会定例会一般質問の本会議を傍聴しました。質問は、豪雨災害を踏まえて、災害廃棄物処理計画の策定、SNSを活用した災害時の情報発信・情報

今後の天童市に期待

鈴木由美子(天童中部)

収集、遊休農地・耕作放棄地解消の取り組みについてなどでした。

質問の内容を聞いて、「そつだよな!」「その時はどうすればいいの?」「なんとか活用できないかな?」「なつてからでは、遅いよな!」などと思いました。そつした不安などを感じたわけですが、質問に対して、市長さんや関係する市の担当者の方々が前向きに答えていたのを見て、すごく安心しました。

最後に、議会を平日だけでなく、年に1〜2回、土・日曜日などにも開催してはいかがでしょうか?市民が議会を傍聴しやすくなれば、もっと行政や議会への理解が進むと思います。



12月定例会の日程(予定)

インターネットで生中継します。

日	月	火	水	木	金	土
11/25	26	27	28	29	30	12/1
2	3	4	5	6	7 本会議 (初日)	8
9	10	11 本会議 (一般質問)	12 本会議 (一般質問)	13 常任委員会	14 常任委員会	15
16	17 予算特別委員会	18 予算特別委員会	19	20	21 本会議 (最終日)	22
23 (天皇誕生日)	24 (振替休日)	25	26	27	28	29
30	31					

※請願の締め切りは、11月29日(木)正午の予定です。
※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

天童市議会 ギャラリー



模擬議会終了後
全議員と子どもたちで
記念撮影



編集後記

●今年の秋は市制施行60周年記念事業が盛り沢山。10月に60周年を祝う記念式典を開催。議場では10年ぶりに模擬議会が開かれ、市内の小中学生たちが本市の未来に向けた活発な質疑を行った。その姿は将来の議員誕生に大きな期待を膨らませた。

●将棋の同時対局数世界記録に挑戦する「二千局盤来」を開催。見事、2362対局のギネス世界記録を達成。全国各地からの多くの参加者に感謝したい。

●今月は、県市議会議長会議会報研修会が本市で開催される。研修会に臨んで、読みやすく、分かりやすい市議会だよりを発行するよう努めたい。
(渡辺)

《広報委員会》

- 委員長 伊藤 和子
- 副委員長 武田 正二
- 委員 鈴木 照一
- 委員 遠藤 敬知
- 委員 渡辺 博司
- 委員 佐藤 俊弥
- 委員 遠藤 喜昭